

危機管理の認識が低い

管理職の図上訓練を実施

一新会
(松村 博司 議員)

①防災対策及び危機管理について、市の危機管理体制の認識が低い。
市長 防災指導マニュアルに基づき、適切に職員の参集、指令が出る仕組みや、市長から危機管理監を通じ全職員への参集配置ができる体制を整え、各部署が連携し迅速な救援行動を実施できる準備を進めている。全管理職を参集し図上によるシミュレーション訓練を開催

し、ハード・ソフト両面にわたり認識の向上を図る。初動体制を確立する。災害情報システムは府防災無線、防災情報システムにより対応している。
②新名神高速道路の建設により、移転となる事業者企業に対し公共事業の施行に伴う特別措置の事例を踏まえて、工業地域の拡充や企業移転の支援態勢は、組合形式による工業系の土地区画整備



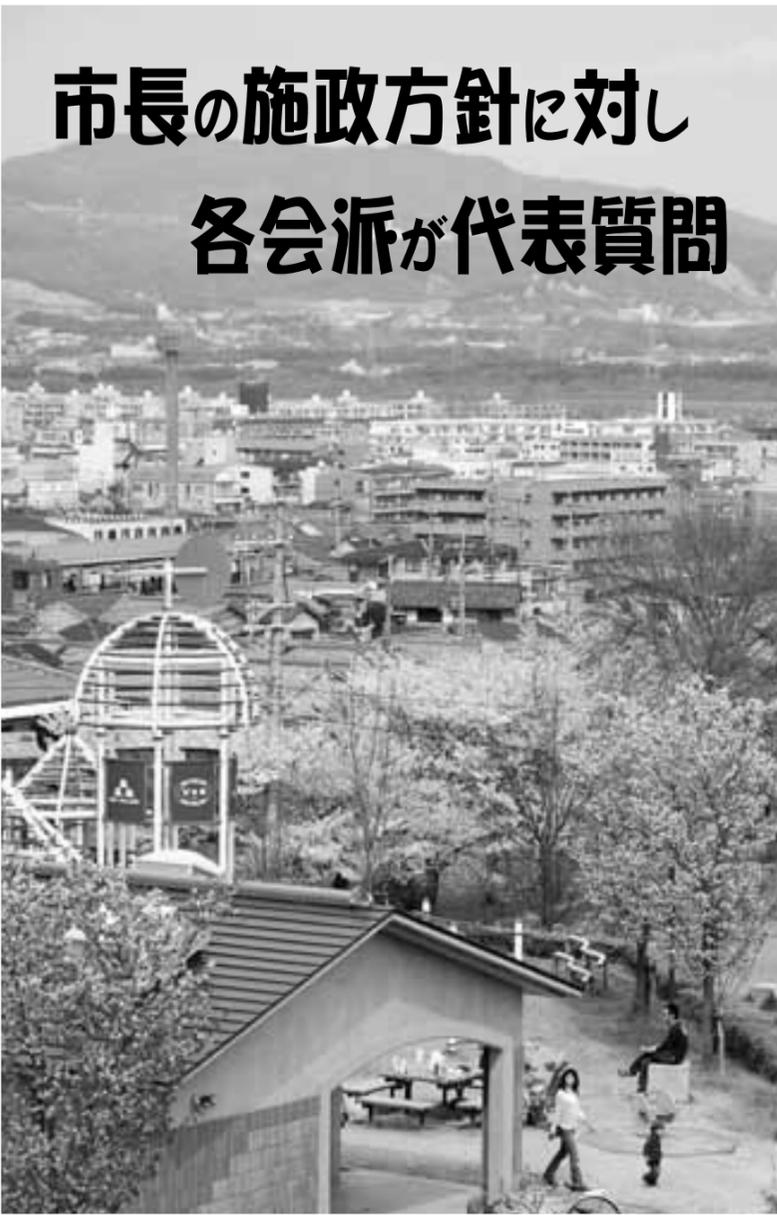
幹部職員による水害想定図上訓練の様子

事業を目指す地権者組織に対する支援は、高架下側道の設置要請や大住工業専用地域と周辺農地と

の治水問題については、市長 新名神建設の進捗に合わせ組合施行の発起人会による事業計画作成や各種調査が行われる。費用面、技術面で支援し、スムーズな組合設立を促進する。工業専用地域拡大推進事業は既存企業の移転先確保を目的とし、

工業系優良企業の誘致を図る。高架下側道問題は地域のための側道として地元関係者等と調整を図り、ネクスコ西日本に強く要望する。治水問題は農業用水や工業土地利用とも関連が大きいことから河川管理者の府やネクスコ等に協議を進める。
③地球温暖化防止及び工環境問題を問う。
市長 深刻な社会問題一人一人が意識を高め省エネへの環境改善が必要。エコ対策は意識啓発に努め、市民パートナーシップに積極的な支援を行う。環境マネジメントシステムKES認証取得により進行管理を行い事務事業の効率化でエネルギー使用の抑制対策を徹底する。

市長の施政方針に対し 各会派が代表質問



花見山公園から市内の北東部を展望する

①「軍事によらない平和」こそ本来の「国際貢献」であると考えが市長の考えは、市長 人類の歴史を見るとき、我欲のある限り争いは起るもの。軍事力の脅威により平和が維持されることや戦争と平和が繰り返される史実を見て、平和の一つの形だと考える。しかし指摘のとおり、軍事による

②貧困と格差が進み不安と危機に見舞われていると考えるが市民の暮らしについて市長の認識は、市長 経済情勢は回復の基調にあると言われる中で、市民生活の実感から見れば厳しい実態にあると感じている。昨年来の原油価格の高騰が関連



求職情報を提供、ハローワーク京都田辺

⑤学校給食の安全確保のための取り組みは、教育長 食材の調達、調理、配食、すべての工程に最大限の努力をしている。具体的には、食材の検品、児童に給食が提供される前の検食、また地元食材の利用をより進めていく。

貧困と格差解消の施策を 市民生活は厳しいと認識

日本共産党京田辺市議会議員団
(井上 薫 議員)

③商工業等の振興と活性化については市の考えは、市長 第3次京田辺市総合計画や活性化プログラムに基づき振興を図ると共に商店街活性化に向け積極的な取り組みを行う手され、完成年度に向け

④市政運営における問題点と課題。職員意識

と市民の暮らしを支える財政計画は、市長 自治体の財政悪化を可能な限り早い段階で把握し、財政状態の改善に着手させる仕組みを考える。健全化法に基づく19年度決算において赤字を見込んでいない。

⑥工業系土地利用の取り組みに対する積極的な支援については市の考えは、市長 工業系土地利用の取り組みは、組合施行による土地区画整理事業であり、本市としても今後費用面、技術面等の支援を行い事業の推進を側面より支えていきたい。

市長の政治姿勢は 府市連携協調していく

緑政会
(井上 公 議員)



市役所から望む京田辺市内

①都市経営の視点での行政運営は、市長 目標管理による行政運営、事務事業の執行管理、点検機能を図る。

②財政基盤の確立は、市長 京都府との税務共同化を進め、滞納整理、市有財産の処分、新産業の創出、企業立地の促進、人件費の削減、経常的物件費等の削減を図る。

⑤新名神道路の進捗状況と、地域幹線道路網の整備や鉄道等の交通体系整備については市の考えは、市長 新名神高速道路については、現在、地元との設計協議が行われ、建物調査や用地測量に着手され、完成年度に向け

⑦三山木地区特定区画整理事業と南部地域のまちづくりで、市の考えは、市長 市の施設については今何が必要か見きわめ方向を定めると共に、自然や歴史的な資源を大切にしながら地域性を生かした施策を推進したい。

⑧また、新田辺商店街については、新田辺再開発協議会とも協議を進めていきたい。
⑨農業振興については市の考えは、市長 新設拡充した補助制度により、特産品の生産拡大、担い手農家の育成を図ると共に、農業振興地域整備計画を策定し、新たな特産品の創設や、農業振興等について検討していきたい。

⑩また、新田辺商店街については、新田辺再開発協議会とも協議を進めていきたい。
⑪農業振興については市の考えは、市長 新設拡充した補助制度により、特産品の生産拡大、担い手農家の育成を図ると共に、農業振興地域整備計画を策定し、新たな特産品の創設や、農業振興等について検討していきたい。
⑫また、新田辺商店街については、新田辺再開発協議会とも協議を進めていきたい。
⑬また、新田辺商店街については、新田辺再開発協議会とも協議を進めていきたい。